

この地を初めて訪れる人には「かつての相馬の姿を知らせ」、大切な人を亡くした遺族には「思い出と祈りを込めた心の拠り所に」、そんな施設を目指して設立されました。

館内には、津波により被災した相馬市原釜・尾浜地区、磯部地区の震災前の風景写真が展示されており、震災当日の映像記録なども見ることが出来ます。さらに、ボランティアの協力により収集・復元された、持ち主不明の写真を多数展示。この地で生きた人々の記憶が失われてしまわないように保存されています。

同館の隣には慰霊碑が立ち、おり、表面には地域の津波犠牲者の芳名、裏面には被災状況を記した碑文が刻まれています。鎮魂と追悼、後世への伝承。そして、失われてしまった郷土の記憶。ここを訪れる人々が語り合い交流することで、命の大切さや災害に備える力と心を養います。



館内正面には、相馬市の死者・行方不明者の芳名が記された追悼場が設けられている。遺族や友人・知人、関係者のほか、視察などで訪れる人が追悼の祈りを捧げる姿が見受けられる



伝承鎮魂祈念館の隣には、津波による死者・行方不明者の慰霊碑が立てられている。祈念館、慰霊碑ともに、犠牲者を悼み、過去を記録し、未来に伝えることを目的に整備された



潮干狩りなどでにぎわっていた震災前の風景などを写真で展示。ガイド付きの相馬市復興視察ツアー（**①**無料）のほか、震災語り部の講話（**②**1団体2000円）も行っている。詳しくは相馬市観光協会ホームページで確認を

●そうまし
相馬市

●そうましでんしやうちんこんきねんかん
相馬市伝承鎮魂祈念館

犠牲者に祈りを、今を生きる人々に安心を



最大震度 6弱
浸水面積 29km²
最大浸水深 14.49m



全壊 1,004棟
半壊 833棟
一部損壊 3,397棟



死者 466人
行方不明者 19人
負傷者 11人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

施設ガイド

※要予約

語り部あり

※要予約

車椅子OK

施設DATA

●そうましでんしやうちんこんきねんかん

相馬市伝承鎮魂祈念館

☎ 0244-32-1366 MAP P116E1

- ① 相馬市原釜字大津270
- ② 常磐自動車道相馬ICから車で15分
- ③ 9～17時
- ④ 無休
- ⑤ 無料
- ⑥ あり(大型バス:あり)

？ ？ 考えてみよう

Q1 施設内に災害
災難除けの聖
者タルタン・ギャルボ
の銅像を展示してい
ます。どのような由来
があるのでしょうか？



A1 プータン国王から贈られた像。平成23年(2011)11月にプータン国王夫妻が相馬市を訪問したのがきっかけ。